

元気で活力ある まちづくりを目指して

大洲市は、愛媛県の西部に位置し、市の中心部を県下最大の二級河川「肱川」が緩やかに流れ、瀬戸内海へと注いでいます。母なる川のもたらす肥沃な土壌は農業に適した土地を育み、藩政時代の大洲は、その恵みによって六万石の城下町として栄えました。城下町の風情が残る町並みや野趣溢れる肱川の景観は「伊予の小京都」「水郷大洲」と称えられています。また、春の富士山は、「ソメイヨシノ」と「つじ」で彩られ、夏は「うかい」、秋から冬にかけては世界でも類を見ない幻想的な「肱川あらし」が吹き抜けるなど、四季の織りなす大洲の風景は見どころが満載です。

今、本格的な地方分権の時代を迎える中で、地方自治体に課せられた使命は、責任と決断をもつて地域の活性化を図っていくことであると考えています。こうした中、市民・企業・行政が連携して協力し合い、郷土の地域資源を有効に活用し、情報発信することで交流人口を増やしていく、それがこれから求められる地域の活性化策ではないかと考えます。今後も地域一丸となって「元気で活力あるまちづくり」に一生懸命取り組んでまいります。

この市勢要覧は、次世代を担う若者に「大洲の今」を繋いでいくため、地域で頑張る市民の取り組みや市の主要施策などを紹介する一方で、大洲に残る坂本龍馬の足跡を辿っています。この冊子が大洲市のまちづくりをご理解いただく上での一助となれば幸いです。



大洲市長
清水 裕